

フルミスト(経鼻インフルエンザワクチン)について

どんなワクチン？

直接鼻の中へ噴霧するタイプのインフルエンザワクチンです。注射のワクチンと違って痛みや腫れがありません。2003年にアメリカで、2011年にヨーロッパでも認可され、欧米では広く接種されていますが、日本では昨年度から認可されたワクチンです。



従来の不活化ワクチンとの違い

インフルエンザウイルスは、気道の粘膜に感染を起こして増殖し、全身に広がります。注射型のインフルエンザワクチンは、血液中のインフルエンザウイルスに対するIgG抗体(免疫物質)が作られることで、インフルエンザウイルスが全身に広がるのを抑えます。感染そのものを防ぐというよりも、「重症化を防ぐ」作用が主になります。それに対し、フルミストは生ワクチンであり、実際に鼻粘膜で弱毒化されたウイルスが繁殖するため、IgA抗体の産生が誘導され、ウィルス侵入部位での感染を阻止する作用が期待でき、従来のワクチンと同等以上の有効性が報告されています。効果持続期間も長く、約1年間効果が持続したという報告もされています。

接種対象者

2歳以上19歳未満の健康な人

用法

0.2mLを1回(各鼻腔内に0.1mLを1噴霧)、鼻腔内に噴霧します。

ワクチン接種ができない人

- ・当日に、急性疾患にかかっている人や多量の鼻水がある人、発熱している人
- ・卵で重篤なアレルギー反応を起こしたことがある人
- ・治療のためにアスピリンを服用している人
- ・喘息治療中でコントロールが不安定な人
- ・免疫不全など重度な基礎疾患のある人

副反応

フルミスト接種後の主な副反応は、鼻炎症状(鼻水、鼻づまり)や発熱などです。重篤な症状はほとんどありませんが、非常に軽微な症状を含めると半数近くに出現すると考えられます。また経鼻生ワクチンのため、接種から2週間程度はインフルエンザ抗原迅速検査で『陽性』となる可能性があります。周囲の人に感染させる可能性は低く、行動制限は不要です。

料金

接種料金は8,000円(税込)と高額ですが、1回の接種で完了します。